

平成18年第3回大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

平成18年9月5日  
大仙市長 栗 林 次 美

本日、平成18年第3回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、条例案12件、単行案13件、補正予算12件、決算認定3件の合計40件のほか、協和統合小学校建設の工事請負契約締結に係る単行案及び人権擁護委員の候補者の推薦に係る人事案件について、準備が整い次第、追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

それでは、この場をお借りいたしまして、本年度の各部局ごとの主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告させていただきます。

始めに、総務部関係について申し上げます。

職員採用試験につきましては、一般事務及び建築・土木合わせて15人の採用予定で、去る9月3日、大曲仙北広域交流センターにおいて第1次試験が実施され160人が受験しております。

次に、企画部関係についてであります。

行政評価につきましては、市民から意見を伺う市民評価として、本年度の新規事業・主要事業等7分野26事業についてのアンケートを実施するもので、8月下旬、市民1,000人にアンケート用紙を郵送したところであります。

市の「花、木、鳥」の制定につきましては、市民を対象に名称を募集し、選考委員会を設置し作業を進めております。また、「市民の歌」につきましては委員10人からなる制定委員会を設置し制定作業をお願いしております。

「花、木、鳥」及び「市民の歌」につきましては、10月1日に大曲市民会館で開催される「大仙市誕生1周年記念式典」での披露を予定しております。

男女共同参画事業につきましては、大曲西中学校の親子講演会はじめ4カ所で出前講座を開催しており、今後とも積極的に出向きながら男女共同参画意識の浸透を図ってまいります。

また、市職員に対する男女共同参画の意識浸透や庁内推進環境の整備を目的に、6月に関係部課長からなる男女共同参画庁内推進会議を設置し、男女が

共に働きやすい職場環境づくりなどを進めております。

第三セクターの経営改善につきましては、大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会を4回開催し、各三セクの現状と課題について調査、検討いただいております。今後、市としての考え方及び各三セクの運営方針等を、特別委員会に示しながら、11月頃には一定の方向を定めたいと考えております。

なお、温泉を経営する一部の三セクでは、利用者の減少と灯油代の高騰などによる経費の増加により、運転資金不足が懸念されていることから、新たな方針による経営改革に着手するまでの暫定措置として、今般、第三セクターに運転資金を貸付けする制度を設けたいと思っております。

秋田わか杉国体につきましては、第57回県民体育大会軟式野球競技が7月15日、16日の両日、県南3市の8球場で開催され、記録送受信業務を中心にチェックを行いました。

また、8月9日から11日までの3日間、第11回ジャパンオープンハンドボールトーナメント女子の部が、全国から256人の選手・監督・役員を迎え、市大曲体育館と県立大曲農業高校新体育館で開催され、競技役員、競技会係員、補助員647人が大会運営に当たったほか、スポーツ少年団によるエキジビションマッチや165人の応援サポーターが、大いに会場を盛り上げました。

翌週の8月20日には、美郷町・大仙市37.4km特設ロードレースコースで、「第41回全国都道府県対抗自転車競技大会」が開催され、当市では、231人の立哨員りっしょういん、交通指導員がコース確保に当たりました。

大会開催に当たり市民の皆様には、仮設物設置工事や交通規制等で大変ご不便をおかけいたしました。ご協力に対しまして心から感謝申し上げます。

次に、市民生活部関係についてであります。

交通安全対策につきましては、去る8月1日から10日までの夏の交通安全運動期間中、子どもと高齢者の交通事故防止等を重点目標に掲げ、交通指導隊、交通安全母の会など関係機関、団体による巡回車両パレード、街頭指導及び啓発活動を実施しております。

防犯活動につきましては、市職員と教職員による「子ども安全パトロール」を実施し、登下校時の小学生の安全確保に努めているほか、6月24日、防犯

協会、防犯指導隊及び青少年育成大仙市民会議の三者合同の連絡会議を開催し、地域住民、自治会、PTA、老人クラブ等に対し、子ども安全ネットワークの構築を呼びかけていくことを申し合わせました。

また、市内の郵便集配局、JA秋田おぼこ及び秋田県ハイヤー協会大曲仙北支部に協力を要請し、10月から所有車両に防犯ステッカーを貼付して防犯パトロールを実施していただくことで準備を進めており、今次定例会にこれら防犯ステッカー及び青色回転灯の購入経費に係る予算の補正をお願いしております。

なお、大仙市管工事組合からは、組合加盟30社所有の車75台に、独自に防犯ステッカーを貼付し、子ども安全パトロールに協力いただいております。

青少年健全育成につきましては、大仙警察署など関係機関と協力し、有害図書浄化活動の一環として、書店、販売店等への一斉立入調査を実施するとともに、去る7月18日に開催された「社会を明るくする運動公開ケース研究会」で、青少年の非行防止と更正保護の重要性の啓発を行っております。

消防施設の整備につきましては、県の「孤立化集落情報通信整備事業」の補助を受け、衛星携帯電話3台を導入しております。

大仙市地域防災計画につきましては、すでに草案ができあがっており、今後県との事前協議及び大仙市防災会議等を経て、本年度中には策定を完了したいと考えております。

また、9月10日仙北地域を主会場に、直下型地震で震度6強の災害を想定した防災訓練を計画しております。

老人保健医療制度につきましては、平成20年4月から後期高齢者医療制度に変わることから、その運営を全県25市町村で設立する広域連合があたることになっており、現在、秋田県市町村会館内に設立準備委員会を立ち上げ準備を進めております。その経費については、国と構成市町村が負担することになっていることから、今次定例会に負担金に係る予算の補正をお願いしております。併せて、9月から準備委員会事務局職員として大仙市からも1名の職員を派遣しております。

また、健康保険法の改正に伴い、10月から国民健康保険出産育児一時金を30万円から35万円に、葬祭費については10万円から5万円となったもの

を急激な変動を避けるため7万円にそれぞれ改定する予定であり、今次定例会に関連する条例の一部改正をお願いしております。

なお、10月から、国の指定する特定疾患及び小児慢性特定疾患患者の負担を軽減するため、発病から20歳に達するまで、難病に関する医療費の自己負担分を助成いたします。

大仙美郷環境事業組合関連の一般廃棄物最終処分場建設事業につきましては、去る6月22日に指名競争入札を行い、6月28日に22億500万円で西松建設株式会社東北支店と契約を締結しており、8月10日には安全祈願祭を行っております。なお、工期は6月29日から平成20年3月21日までとなっております。

し尿処理施設整備工事につきましては、8月末現在の進捗率が85.9%であり、11月末には完了の見込みとなっております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

敬老会につきましては、本年度から対象者を75歳以上に統一するとともに、各地域の実行委員会及び地区社会福祉協議会を主催者とし、9月1日に開催された大曲地区に続き、他の22地区においても9月18日までの間に、順次開催される予定であります。

障害者自立支援法につきましては、障害程度区分認定のための第1回目の審査会を去る8月29日に開催するなど、10月1日からの法の全部施行に向けて準備を進めており、関連予算の補正を今次定例会をお願いしております。なお、国の利用者負担軽減策の対象とならない「地域生活支援事業」の中の5事業を利用している低所得者について、10月から、障害者自立支援法移行に伴って増加した分の自己負担額を軽減いたします。

また、現在障害者計画策定のための意向調査を実施しておりますが、その中で示された課題等につきましては、来年度予算に反映してまいりたいと考えております。

子育て支援関係につきましては、社会福祉法人大曲保育会が運営する大曲中央保育園、大曲南保育園及び四ツ屋保育園の大規模修繕事業が、それぞれ8月12日に着工されており、10月30日には完了の予定と伺っております。

西仙北地域の統合保育園建設事業につきましては、平成20年4月の開園に向け、本年度と来年度の2カ年事業として進めているところであり、今次定例会に本体工事費に係る予算の補正をお願いしております。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、7月中旬以降、最高気温、平均気温ともに平年より低く、日照時間が少なく推移したことから軟弱傾向が見られました。その後、8月に入ってから好天により、出穂までは順調に推移したものの、前半期の低温が影響し、移植栽培の出穂期は平年よりやや遅れ8月7日となっております。なお、<sup>じかまき</sup>直播栽培の出穂期は8月10日で、順調に生育しております。

秋田県の作柄概況については、東北農政局秋田農政事務所の8月29日の公表によると、8月15日現在における作柄は「平年並」となっております。

航空防除につきましては、5月に食品衛生法が改正されたことに伴い、大曲地域、西仙北地域及び協和地域は全て無人ヘリによる防除体制をとっておりますが、管内の農薬散布は有人ヘリを含め太田地域の7月22日から順次作業を開始し、8月19日までに終了したところであります。

大豆の「すずさやか」につきましては、JA管内で一般栽培面積が197.3ha、うち当管内の面積は68%に当たる134.7haであります。

野菜・花きにつきましては、7月の日照不足の影響により、やや生育が遅れておりましたが、8月上旬の好天により平年並みまで持ち直しており、価格面におきましても高値で推移しております。なお、県で推奨しております「りんどう」につきましては、本市では新たに109aが栽培され、本年度の栽培面積は218aとなっております。

集落営農の推進につきましては、管内593集落に対しおおむね2回から3回の説明会を実施しておりますが、農業従事者に本制度を広く理解していただくため、ミュージカル「なんじょすっぺ おらほの集落営農」を公演したところ474人の入場者がありました。今後は、経営体組織の設立に取り組んでいる集落や面積要件を満たしている農家の、認定農業者への誘導を積極的に推進してまいります。

畜産につきましては、大仙市・仙北市・美郷町一円を対象とした第1回目の

畜産共進会が、去る7月29、30日の両日、大曲家畜市場を会場に開催され、管内から肉用牛57頭、乳用牛6頭、肥育牛10頭、家兎<sup>かと</sup>27羽、家禽<sup>かきん</sup>10点が出品され、12頭が優等賞に輝いております。

雇用対策につきましては、高校3年生を対象とした県南地区職場研修事業を、21社23事業所からの協力をいただき、大曲雇用開発協会とともに7月25日から8月5日までの12日間にわたり開催し、管内では、昨年より66人増の延べ227人の参加を得ております。

商工会の合併につきましては、6月に「大仙市地区商工会合併推進協議会」が組織化され「合併に関する基本協定書」に各商工会が調印するなど、合併の事務手続きが進められております。

大仙市企業連絡協議会につきましては、「地域企業の振興及び地域経済の活性化」を目的に、市内48事業所による設立総会が7月に開催され、今後各種研修会等の事業展開を予定しております。

商工業振興につきましては、商店街環境整備事業費補助金が新規で6団体、商店街等新規開店助成金で1商店の利用がありました。

また、雇用助成金につきましては、現在までの申請件数が35件で、45歳未満の新規雇用者が16人、学校新卒者の雇用が42人となっており、昨年と比べ大幅に増加しております。

企業誘致対策につきましては、去る8月3日東京で開催された「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」に参加し、業界動向の情報を得ながら市のPR活動を行ってまいりました。引き続き秋田県の企業誘致推進協議会の活動に積極的に参加し、企業誘致及び工業団地の分譲促進を図ってまいります。

夏祭りにつきましては、8月5日の「夏まつり大曲」、8月15日の「彩夏<sup>さいか</sup>せんぼく」及び「ふるさと西仙祭り」、8月16日の「ドンパン祭り」等が行われ、多くの市民の参加をいただき、盛会裏に終了することができました。

80回を迎えた全国花火競技大会につきましては、8月26日に国土交通省や秋田県警、県地域振興局、JR、東日本高速道路株式会社、羽後交通、広域消防などの協力のもとで開催され、好天にも恵まれ、過去最多となる75万人の人出となりました。また、交通対策については、全庁体制での取組みや駐車場の増設などにより例年よりスムーズな対応ができたものと思われませんが、

引き続きより安全、安心な大会となるよう万全を期してまいります。

次に、建設部関係についてであります。

都市計画道路駅東線街路整備事業につきましては、前年度繰越分の道路改良工事の進捗率が8月末現在で約70%となっており、完了後、引き続き舗装工事を発注する予定であります。なお、本年度事業の駅前広場までの区間につきましては、6月に道路改良工事を発注済みであります。

都市計画道路花園線につきましては、舗装工事を7月に発注済みであります。このほか、駅前広場整備工事は7月に、歩行者用シェルター設置工事は今月初めに、発注済みであります。

まちづくり交付金事業で実施している神岡地域の中央公園屋内多目的施設につきましては、愛称を公募し、最終選考を地域協議会で行い「嶽ドーム」と決めたところであり、現在12月1日のオープンを目指し管理棟の建築工事を進めております。

また、(仮称)新協和体育館建設工事は、事業費ベースでの進捗率が8月末現在で約60%となっております。

都市公園事業につきましては、仙北ふれあい公園事業の体育館建設用地造成工事を、今月中に発注の予定であります。また、協和地域のカントリーパーク整備事業につきましては、グラウンド・ゴルフ場造成工事を、8月中旬に発注済みであります。

宅地造成事業につきましては、西仙北地域の北ノ沢市営住宅造成工事を8月に発注済みであります。

なお、県が実施する「都市計画基礎調査」に合わせ、大仙市都市計画マスタープラン策定のため、よりきめ細やかなデータ収集・分析を行う補完調査に要する経費について、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

市道整備につきましては、市単独事業の新設及び改良事業63路線のうち、28路線について発注済みであり、未発注の路線についても今後設計業務等が完了次第、順次発注の予定であります。

地方道路交付金事業で施行している黒森山線は一部発注済みであり、中仙4号線及び地方特定道路整備事業で施行している仙北45号線については、



設計業務等が完了次第発注の予定であります。

公共下水道事業につきましては、本年度計画の延長 8.9 kmのうち、大曲、神岡及び中仙地域の 7.3 kmが発注済みであります。

農業集落排水事業につきましては、8地区において補助、単独合わせて 31 件の管路工事、延長 14.3 kmを発注済みであります。なお、処理施設建設工事につきましては、4地区 8件を発注しております。

次に、大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転補償につきましては、大曲丸の内町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件 66戸中 23戸、借家人補償は 27店舗中 6店舗の権利者と契約済みであり、現在残りの権利者と交渉中であります。

工事関係につきましては、第1工区・都市計画道路中通線新設工事について延長 146m分を8月中旬に発注済みであり、中通線の鉄道横断部アンダー化工事については、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社と工事施工に関する協定の締結について、今次定例会でのご審議をお願いしております。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道 13号大曲バイパス 4車線化事業の新玉川橋につきましては、去る 6月 28日から通行を開始しており、花館高架橋については、JR区間を含めた上部工を進め、国道 105号と玉川橋間について改良舗装を実施する予定と伺っております。

また、神宮寺バイパス事業、土買川築堤に伴う水尺橋架け替え事業及び雄物川中流部緊急対策事業につきましては、補償交渉等が順調に推移していると伺っております。

県事業の大曲西道路につきましては、大曲インターと山根ランプ間が 7月 31日に開通し、また、飯田ランプと和合ランプ間が 10月 13日に開通の予定と伺っており、これにより全線開通の運びとなります。

国道 105号県単改良事業につきましては、JA四ツ屋給油所から約 120mの延伸工事を 7月に完了しており、国道 341号上淀川地内交差点改良事業につきましては、11月末に完了の予定と伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、配水管拡張工事として花館中野地内延長 8 3 7 m を 6 月下旬に、日の出町 2 丁目地内延長 4 0 0 m を 8 月初旬に、また、配水管改良工事として古四王際地区延長 4 3 0 m を 7 月中旬に、和合地区延長 6 5 0 m を 8 月初旬にそれぞれ発注済みであります。

簡易水道事業につきましては、西仙北地域刈和野地区の取水設備工事を 7 月中旬に発注済みであり、配水池築造工事については今月中旬に発注できるよう準備を進めております。また、山間部のため、沢水を水源としている地区が多い大沢郷地区については、生活用水困窮地域をできるだけ早期に解消するとともに、事業費の削減も期待できることから、取水、浄水施設及び配水管布設工事までの関連事業を、継続事業として平成 1 9 年度に一括発注することとしており、今次定例会に、全体実施設計に係る予算の補正及び継続費の設定をお願いしております。

事業計画 3 カ年の最終年になります協和地域沢庄地区簡易水道統合整備事業については、工事を 6 月下旬に発注済みであり、平成 1 9 年 3 月初旬に完了の予定であります。

仙北地域南部の簡易水道統合整備事業については、4 工区のうち 3 工区延長 9, 2 0 7 m について 8 月中旬に発注済みであり、残り 1 工区については今月中旬に発注できるよう準備を進めております。

次に、教育委員会関係についてであります。

小中学校の現状を踏まえ、教育環境整備の方向性を見いだすため設置した大仙市学校づくり将来構想検討委員会につきましては、第 1 回目の会議を去る 8 月 1 0 日に開催しております。1 5 人の委員で構成された同委員会では、この後 3 回の会議を経て 1 8 年度中に提言書をまとめることとしており、これを踏まえ新しい時代を展望した教育及び教育環境の整備のあり方について、方向性を示す計画であります。

神岡地域の幼保一体施設につきましては、平成 2 1 年 4 月の開園に向け、まちづくり交付金事業の一環として、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

子どもたちの安全確保につきましては、小中学校及び幼稚園の実情に合わせて「防犯教室」を実施するとともに、子どもの目線で作成する「地域安全マップ実践普及講習会」を開催し、「自分の命は自分で守る」判断と対応ができる安全教育を、大仙警察署等と連携しながら行っているほか、子どもたちに危険予知・回避の能力が身に付くまで「スクールガード養成講習会」を開催したり、スクールガード・リーダーの指導を受けるなど、負担の少ない長続きする「見守り隊」活動の継続を図っております。

成人式につきましては、去る8月15日、大曲市民会館で挙行し、市内12中学校の卒業生1,075人のうち参加者768人が新成人の祝福を受けております。

文化財につきましては、国指定名勝池田氏庭園の特別公開が6月11、12日の両日行われ、県内外から約3,000人の方々が鑑賞に訪れ、改めて関心の高さを実感したところであります。公開後には池の浚<sup>しゅんせつ</sup>・護岸工事に着手しており、11月11、12日の特別公開時には、往時の景観を取り戻した庭園を鑑賞いただけるものと思っております。また、文化財の保存関連では、8月17日、国宝線刻千手観音等鏡像<sup>せんこくせんじゅかんのんとうきょうぞう</sup>の公開を行ったほか、地域文化デジタル化事業を活用し角間川盆踊りのDVD収録等を進めております。

最後に、財政状況について申し上げます。

大仙市として通年ベースでの実質的に初年度の決算であります平成17年度決算における歳入構造は、普通会計ベースで地方交付税や国県支出金などの依存財源比率が73.1%を占め、地方税収入は歳入全体のわずか14.7%しかないため、各種事業の遂行にあたって、基金の取り崩しと市債の発行により歳入を確保しており、財政運営は非常に厳しいものとなっております。

財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は94.2%で、前年度に比較して4.2ポイント改善されているものの、80%を超えると硬直化とされており、依然として非常に高い数値であることから、引き続きこれを改善することが本市の喫緊の課題であります。

このため、平成19年度以降の財政運営におきましては、経常経費全体について抜本的な削減に積極的に取り組まなければならないと考えております。

人件費につきましては、退職者数に対する採用者数の抑制や早期希望退職者制度により職員数を減らし、適正とする類似団体の職員数に近づけるとともに、特殊勤務手当の見直しなどで人件費の縮減を図ってまいります。また、事務事業や組織の合理化といった見直しによる縮減は申すまでもなく、本年度から実施の指定管理者制度等を活用した業務の民間委託や社会福祉施設や保育園の法人への移行、市が出資している第三セクター等の経営等の改善など、出来るものから早期に実施してまいりたいと存じます。なお、職員の削減にあたりましては、業務調整等を図り、事務事業の執行に支障のないよう職員配置に努めてまいります。

各種補助負担金につきましても、補助金本来の趣旨に立ち返り来年度予算では、縮減や事業年度の終期設定、事業の組み替えなど、見直しを図ってまいります。

また、平成17年度決算から実質公債費比率という指標が創設されております。平成17年度の実質公債費比率は、平成15年度から平成17年度までの3カ年間の標準的な財政規模に占める公債費負担の度合いを測る指標で、自治体の起債が許可制から協議制に移行されたのに伴い創設されたものであります。

この指標が18%以上の団体は従来通り許可制が適用され、公債費負担適正化計画の策定団体となり、今後の財政運営の計画をたて許可を得る必要があり、25%以上になると単独事業などの起債が制限されます。

本市における実質公債費比率は17.0%となっており、現段階では協議制での起債発行が可能となっておりますが、総合計画の実施計画に掲載されている事業をすべて実施するとすれば、シミュレーションでは平成19年度に18%を超え平成21年度には21%前後になるものと予測しており、6月に策定した実施計画の普通建設事業につきましても、計画事業の再度の見直しを行い起債発行額の削減を図らなければならないと思っております。

今後の財政につきましては、大仙市はもともと財政基盤が脆弱な市町村による合併のため、その財政運営は依然として交付税等の依存財源に頼っていることから、今後、自主財源の確保のため、市税の滞納繰越分の徴収に一層の努力を払うとともに、歳出構造の抜本的な改革を行い、贅肉を切り捨てスリム化を

図る必要があると考えております。

依然と厳しい財政状況であります、「市民との協働のまちづくり」を基本とし、大仙市の基礎を構築してまいりたいと存じますので、市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、招集のあいさつ並びに諸般の報告とさせていただきます。